

刈谷市美術館

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町 4-5  
Tel : 0566-23-1636 Fax : 0566-26-0511  
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

# IELA MARI

## イエラ・マリ展

— 字のない絵本の世界 —

2015年7月18日(土) → 8月30日(日)

開館時間：9:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)

休館日：月曜 (ただし7月20日は開館)、7月21日(火)

観覧料：一般 300円、学生 200円、中学生以下入場無料

\*身体障がい者、精神障がい者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。  
入館の際に手帳をご提示ください。

主催 刈谷市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

後援 愛知県教育委員会、絵本学会

企画協力 Hamelin Associazione Culturale

協力 Babalibri、l'école des loisirs、Michele Mari





イエラ・マリ、エンツォ・マリ 『にわとりとたまご』 Emme edizioni



イエラ・マリ、エンツォ・マリ 『りんごとちょう』 Emme edizioni



イエラ・マリ 『たべちゃうぞ』 試作本

1950～60年代、経済成長期のミラノは、イタリアのデザイン発信地となりました。そのような時代に制作を始め、10冊に満たない絵本で忘れえない作家となったイエラ・マリ (Iela Mari 1931-2014)。その知られざる生涯と絵本の制作過程に迫る展覧会です。

美術学校で絵画を学んだイエラは、1960年代半ばまで生活を共にしたデザイナーのエンツォ・マリとともに、子育てをしながら新しい子どもの本の構想を練り、1960年、字のない絵本『りんごとちょう』を発表しました。その後、イタリアの子どもの本に大きな足跡を残したエンメ出版から、代表作『あかいふうせん』『木のうた』を含め、1980年までに8冊を発表します(うち2冊はエンツォとの共作、『りんごとちょう』改訂版を含む)。そして、多くを語ることはないまま、イエラは2014年1月に逝去しました。

テキストに頼ることなく、生命の循環や形態の移り変わりを絵が物語っていくその絵本は、現在も多くの人たちに影響を与えつづけています。本展では、貴重な絵本原画や試作本などからイエラ・マリの仕事に迫ります。

また、各国で出版されている様々な「字のない絵本」をあわせて紹介します。



イエラ・マリ 『木のうた』 原画

## EVENTS

### 1. ワークショップ「かおのカード」

講師：駒形克己さん (デザイナー、造本作家)

日時：8月1日(土)10:30～12:30

会場：美術館2階研修室

対象：3歳～未就学児の親子 定員：12組

参加費：100円 (材料費+レクリエーション保険代)

\*要展覧会チケット (高校生以上)

### 2. ワークショップ「ひとつがふたつ」

講師：駒形克己さん (デザイナー、造本作家)

日時：8月1日(土)14:00～16:00

会場：美術館2階研修室

対象：小学生以上の親子 定員：12組

参加費：100円 (材料費+レクリエーション保険代)

\*要展覧会チケット (高校生以上)

### 3. 「えほんのじかん」—親子で楽しむ「字のないえほん」—

7月18日(土) ①11:00～11:30 ②14:00～14:30

8月22日(土) ①14:00～14:30

協力：岡崎女子大学・短期大学サークルホビット、有志の学生のみなさん

\*申込不要。当日直接美術館1階受付付近にお集まりください。

\*参加無料 (高校生以上は要展覧会チケット)

### 4. 学芸員によるギャラリー・トーク

7月28日(火)、8月11日(火)・25日(火) 各日とも14:00～1時間程度

ご希望の方は、当日1階ロビーにお集まりください。

\*参加無料 (高校生以上は要展覧会チケット)

### 交通案内

電車=JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分

\*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で20分

車=名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km

\*駐車場あり(無料60台)

